

くすのき



言いにくいことも

11月29日(金)、心の絆を深める集会を行いました。今回は1・2・3年生、4・5・6年生と2つに分けての実施です。それぞれの学年の人権集会で学んだことや考えたことはもちろん、日頃の学校生活で言われて嫌だったことやされて嫌だったこと、また、どうしてその様なことを言ったりしたりしたのかを尋ねる発言がありました。とても言いにくいことだと思いますが、子ども達は堂々と発言していました。「学校をより良くしたい。」「みんなが気持ちよく過ごせる学校にしたい。」「心のもやもやをとりたい。」「みんなが頷けることです。各学校や地域では、「部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす取組」を行っています。西合志第一小学校でも毎年人権学習や人権集会に取り組んでいます。本校の89人の児童は、みんなやさしくて思いやりのある子です。しかし、ちょっとしたことで悪気はないのに、人が傷つくことや嫌になることをしてしまうことがあります。その時にすぐ反省して「ごめんなさい。」と言える人もいれば、なかなか言えない子もいます。89人、性格も違えば考え方や捉え方も違います。トラブルが起こることは当たり前です。そのトラブルがすぐ解決することもあるれば、時間がかかることもあります。その様な経験ができる場所も学校です。各教科の勉強をすることは、とても大切なことです。また、友だちとトラブルになってそれを話し合いで解決していくことも大切な学習です。小学校・中学校・高校と、この様な日々の周りの人との関わりや人権学習をして人のことを理解し、自分や人の人権について考え成長し、差別をしない・犯罪をしない大人になって欲しいと思います。



発表にお返しする子ども



発表する子ども

業間マラソン

12月13日(金)の持久走大会当日に向けて、業間でのマラソンに全児童・職員で取り組んでいます。運動不足の私もできるだけ参加しています。走っていてどんどん子ども達にこされてしまいますが、「校長先生がんばって〜。」と声をかけてくれる余裕のある子もいますので、「はい、ありがとう。」と言って、自分なりに頑張っております。



がんばる子ども達



走った後、余裕の表情

小学生の頃、持久走大会で全校児童や保護者が見守る中で走っていたことを思い出します。私は持久走は好きではありませんでしたが、頑張っていました。きついのになぜか頑張っていました。なぜなのでしょう。しかし、理由もなく「その頑張る気持ち」は、大人になった今でも役立っていると思います。大会が楽しみです。